

坂本 寧



概要

氏 名 坂本 寧 (さかもと やすし)

職 業 小国町立坂本善三美術館館長
画家

住 所 下益城郡小川町川尻 364 - 4

主な活動地 小国町

(地域文化活動部門)

坂本寧氏は、昭和二十二年から画家坂本善三氏に師事し、以後、坂本善三氏が昭和六十二年に亡くなるまで師事した。坂本善三氏の御遺族が、師の故郷小国町に遺作を寄贈する際には仲介役として取り持ち、小国町の美術館建設までの様々な活動に従事し、平成六年には坂本善三美術館館長に就任した。

小国町立坂本善三美術館は、平成七年、坂本善三氏が愛してやまなかつた生誕地小国町の黒淵に、坂本善三氏の命日の十月十四日に開館した。美術館建設に最も深く関わった坂本氏は、館長就任以来、坂本善三作品の収集を積極的に行うとともに、坂本善三氏との思い出を綴った「善三先生と私」の自費出版や美術館通信、新聞等各紙により坂本善三氏のエピソードを多方面に執筆し、坂本善三芸術の普及、検証に尽力してきた。また、開館前から今日に至るまで坂本善三美術館建設基金、小国町芸術文化振興基金に多額の寄付も行っている。

美術館活動では、難波田龍起、金昌烈、上田薫、田中稔之など九州初となる現代芸術家の企画展を開催し、坂本善三美術館を熊本では希少な現代美術の発信地として育ててきた。また、講演会、ミュージアムコンサート、一般市民を対象とした美術館教室の開催など、芸術文化の普及と発展に大きく貢献するとともに、不知火町立美術館や津奈木町立美術館の建設に当たっては、美術館運営まで含めて指導助言を行ってきた。

美術館活動以外にも画家としてフランスでの作品発表など意欲的な制作活動を展開し、今後ますますの活躍が期待されている。

これまでの活動歴

昭和六十二年	坂本善三氏の遺族と小国町を取り持ち坂本善三美術館建設に向けて活動を始める
平成元年	熊本県立美術館において個展を開催
(一九八九年)	熊本県立美術館分館において個展を開催
平成五年	小国町立坂本善三美術館館長に就任
(一九九四年)	就任以後、小国町民を対象とした坂本善三芸術の普及に努める
平成七年	小国町立坂本善三美術館開館
(一九九五年)	開館後、講演会、ミュージアムコンサートなど芸術文化の普及活動を展開する
平成八年	坂本善三美術館において北大路登山展を開催
(一九九六年)	
平成九年	坂本善三美術館において難波田龍起展を開催
(一九九七年)	小国町民を対象とした美術館教室など普及活動を開始する
平成十年	坂本善三美術館において金昌烈展を開催
(一九九八年)	
平成十一年	坂本善三美術館において上田薫展を開催
(一九九九年)	フランス・パリで行われたSAGA99に東京のM.M.Gの企画により出品
平成十二年	フランス・コルマールのゾッチャーリ画廊において個展を開催(出品作はゾッチャーリ版画工房に滞在制作)
(二〇〇〇年)	
平成十三年	坂本善三美術館において田中稔之展を開催
(二〇〇一年)	フランス・パリで行われたハイジュー・エスタンパージュに東京のM.M.Gの企画により出品